

ウトヤ島、7月22日 (2018)

UTOYA 22. JULI

UTOYA: JULY 22

メディア 映画

ジャンル ドラマ サスペンス

製作国 ノルウェー

時間 97分

初公開日 2019/03/08

公開情報 東京テアトル

映倫 G

【キャッチコピー】

衝撃の72分間、ワンカット。

【解説】

2011年7月22日にノルウェーのウトヤ島で起きた戦慄の無差別乱射テロ事件を映画化した実録サスペンス・ドラマ。たった一人の極右の青年によって69人の若者が犠牲になった悪夢の惨劇を、標的となったサマーキャンプに参加していた一人の少女の視点から、ワンカットによる臨場感あふれる映像で描き出す。監督は「おやすみなさいを言いたくて」「ヒトラーに屈しなかった国王」のエリック・ポッペ。

2011年7月22日、ウトヤ島でノルウェー労働党青年部のサマーキャンプが行われていた。そこでは政治に関心のある数百人の若者たちが思い思いに国の未来について語り合っていた。そんな中、首都オスロの政府庁舎前で爆破テロ事件が発生したとのニュースが飛び込んでくる。妹と一緒に参加していた少女カヤも、不安を感じながらもオスロから40キロ離れたウトヤ島とは関係ない出来事と考えていた。ところが突然、銃声が鳴り響き、人々がパニックに陥る。カヤも何が起こったのかわからないまま、仲間たちと森へ逃げ込む。やがて鳴り止まない銃声に恐怖を覚えながらも、離ればなれとなった妹を必死で捜し始めるカヤだったが…。

【クレジット】

監督	エリック・ポッペ	Erik Poppe	
製作	フィン・イェンドルム スタイン・B・クワエ	Finn Gjerdrum Stein B. Kvae	
脚本	シヴ・ラジェンドラム・エリアセン アンナ・バヘ＝ウィーグ	Siv Rajendram Eliassen Anna Bache-Wiig	
撮影	マルティン・オッテルベック	Martin Otterbeck	
プロダクション デザイン	ハラルド・エーゲデ＝ニッセン	Harald Egede-Nissen	
衣装デザイン	リッケ・シモンセン	Rikke Simonsen	
出演	アンドレア・ベルンツェン アレクサンデル・ホルメン ブレード・フリスタット エリー・リアンノン・ミューラー・オズボーン ソルヴァイク・コルーエン・ビルケランド	Andrea Berntzen Aleksander Holmen Brede Fristad Elli Rhiannon Muller Osborne Solveig Koloen Birkeland	カ ヤ